

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3370102810		
法人名	社会福祉法人 敬友会		
事業所名	グループホーム ひまわり		
所在地	岡山県岡山市南区大福1200-2		
自己評価作成日	平成26年7月25日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利法人 高齢者・障害者生活支援センター		
所在地	岡山市北区津高628-1		
訪問調査日	平成27年3月19日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ゆっくりとした雰囲気ですぐに入居者の方が過ごすことが出来ている。優しい職員が多く、入居者様も笑顔が絶えない毎日を送ることが出来ている。キッチンからもホール全体を見渡すことが出来、入居者様の状態の変化にも(転倒や急変など)常に配慮している。ご家族様とゆっくりと過ごす時間を大切にしており、面会時の空間作りはもちろんのこと、外出にも力を入れており、ご要望の場所へご家族様も含め、出来る限り出かけるようにしている。勉強会を毎月行っており、知識や技術の向上に努めている。地域との交流も出来る限り行なうよう努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

生活の継続性と自己決定を大切にし、24時間医師の対応ができる体制の支援がなされています。音楽療法を取り入れたり行事企画に外出を多く取り入れ、機能低下の予防に努めています。又、職員は長期就業者も多く、キャリアパス制度も設けられ、知識や技術も高められてチームワークも良く、入居者を自宅で過ごされているのと同じ様なゆったりとした時間を過ごしてもらえるよう支援されているようでした。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)＋(Enterキー)です。〕

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	カンファレンスで話し合いを行い、意見を出し合っている 勉強会や研修等で学んでいる	理念は玄関や更衣室のロッカーに掲示し、いつでも確認できるようにしている。また勉強会等でも認識し合い、みんなで共有して、実践につなげている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議への参加呼びかけにより、徐々に参加していただけるようになってきている 近所の方へのあいさつ 地域ケア会議への参加 出来る限り、町内の行事にも参加している	町内会に加入し、近所の方に挨拶や町内の行事(クリーン作戦、ふれあいサロン)に参加して、地域の一員として交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の行事にも徐々に参加するようになってきている傾聴ボランティアの受け入れ 入居者様が離設の際、近所の方が協力してくださった。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご家族にもわかりやすいテーマを選んでいる 要望・意見などがあれば検討している	2ヵ月に1回テーマを決めて、運営推進会議を開催している。参加者から町内の行事や近所の集まりの誘い等がある。	運営推進会議の開催曜日やテーマを調整し、多くの参加者の意見をサービスの向上に活かせる様今後の取り組みに期待します。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町村からの問い合わせや提出書類については迅速に対応している	地域包括支援センターから地域会議への誘いや困ったことがないかとの声かけ、この地域をどのようにして盛り上げるか等の話があり、協力関係を築くよう取り組んでいる。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	常に入居者の居場所の確認を行い、鍵をかけなくても良いケアを行っている カンファレンスで身体拘束について話し合い知識を深めている	身体拘束について勉強会を行い、正しく理解して拘束をしないケアを実践している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	更衣時に入居者の身体状況を確認するなど職員同士がお互いに注意し合えるケアを行っている カンファレンスで虐待についての話し合いを行い知識を深めている		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修にて学んでいる 必要な入居者には活用できるよう援助している		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約締結の際には責任者が同席し、わかりやすく説明するようにしている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時など気づいたことは何でも話していた だけのように配慮している 運営推進会議議事録を玄関に置いており、 来訪者がいつでも閲覧できるようにしている	家族に手紙や面会時に入居者の最近の様子を話したり、なんでも話してもらえるような雰囲気作りをしている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	勤務中に気づいたことはカンファレンスで話題にし、解決している	職員との面談やカンファレンス時に提案や意見を聞くようにしている。支援面や環境美化のことなど提案があり、対応したとのことでした。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	全職員との面談(年2回)や日頃から職員の声に耳を傾けている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月1回の研修やカンファレンスでの職員同士での勉強会、新人研修やキャリアパス研修などの研修を行っている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域包括支援センターと連絡をとったり、お互いの施設の見学を行っている		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	日常の中で話されている要望等に耳を傾けながらケアプラン作成時に反映させている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面会時にはご家族の方に積極的に話しかけ、要望等を集めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居者のアセスメントや日々の生活の中で意見交換を行い、安心して生活できる環境を作っている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	洗濯物をたたむ 洗い物 草取り 花の手入れ、また身の回りの整理整頓など出来ることは自分でしていただいている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	月1回ご家族への手紙を送付し、近況報告をしている。メールや電話で適宜連絡をとっている。面会時にも、その都度近況を報告している		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	なじみの場所へ行きたいという希望には、可能な限り応えている (なじみの美容院、店など) ご家族様にも協力していただき、なじみの場所へ出かけることが出来ている	球場に行かれなくなった野球ファンにはグッズをそばに置くことや家族の協力を得ながら、少し遠い実家へ帰り、友人に合うなど馴染の関係が途切れないよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士で談笑できるように時折職員も間に入り、落ち着いて話をしている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院先へお見舞いに行き、ご家族や本人から話を聞いている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	認知症のため要望を聴取しにくい場合でも、日々の生活の様子や言葉をよく観察し把握できるように努めている		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にお聞きしている 日常の会話の中で新たに教えていただくことも多い		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活の中で、一人ひとりの行動を把握している 変化があれば職員間で申し送り、対応している 個別にリハビリや散歩に出かけるなどしている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	面会時、出来るだけ話し合いの機会を持ち、要望・意見を集め、カンファレンスで検討してケアプランを作成している	本人・家族には日頃の関わりの中で意見や思いを聞き、申し送りノートも利用して、担当者等と話し合い、現状に即した介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	各担当者またはカンファレンスで見直しを行い、反映している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	努力はしているが、多機能とまではいかない 傾聴ボランティアの受け入れ ご家族様の外出などの協力		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご家族にもケアに参加していただけるような環境づくりを行っている ボランティア 訪問理容 地域の活動(クリーン作戦 ふれあいサロン)などへの参加		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	往診での対応 必要な際には、協力病院への紹介や入院をお願いしている 往診を利用されていない入居者様は、ご家族様協力の下かかりつけ医への受診を行っている	ほとんどの方が協力病院の往診を受けられているが、眼科等の外来受診については家族の協力や職員の同行で適切な医療が受けられるよう支援している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	変化があれば看護師に相談し、早急に対応している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にはお見舞いに行き、家族や病院関係者から入居者の状態をお聞きするようにしている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	主治医より家族に対しての説明の場を設けるようにしている 家族には施設で出来る範囲を説明し、今後の対応を協議している	入居時に重度化した場合における対応に係る指針を説明し、主治医からも家族に対しての説明の場が設けてある。ほとんどの入居者から看取りの要望があり、24時間医師の対応が可能で看取りの経験がある。	これからも事業所でできることを十分説明しながら、入居者、家族と方針を共有して、チームで支援に取り組んで下さい。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを作成し、カンファレンスや研修で繰り返し確認している		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の訓練を実施し、消防署の指導を受けている。マニュアルの確認や職員同士での話し合いも行っている 地域の班ごとに防災組織を立ち上げているが、地域の方との避難訓練は出来ていない。	年2回避難訓練を実施し、入居者の方を安全に避難させる方法を身につけている。先日地域の合同防災訓練があり、入居者と一緒に参加する機会があったようです。	今後ともいろんな災害時に入居者が安全に避難出来る方法を身につけて、地域の方との協力体制を築き、災害対策を継続下さい。

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	丁寧な言葉や口調で話しかけるよう心がけている。接遇の研修機会を持ち、向上を図っている 排泄、入浴介助の際にもプライバシーに配慮した声かけを行っている	接遇研修等で言葉かけ等について学び、本人の気持ちを大切に考えてさりげないケアを心がけている(排泄については居室にトイレがあるのでプライバシーが確保されている)。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	会話の中で否定はしないように心がけている 表情や仕草などからも入居者を理解するようにしている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出来る限り個人ごとの要望に沿った援助が出来るようにしている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	外出の際には、希望者には化粧をしている 出来る限り外出時の服装は、自分で選んでいただくようにしている		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	片付けや味見、洗い物など出来る範囲のことを手伝っていただいている。オープンキッチンのため、調理を楽しそうに眺めている方もおられる 食事イベントや外出の際には、食べたいものをお聴きしている。食事イベントの買い物へ一緒に出かけることもある	月に6回は入居者の希望する献立の日があり、食材と一緒に買いに行き調理をすることや外食もあり、食事を楽しむことのできる支援ができています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量を毎日チェックしている 月1回の体重測定を行っている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	就寝前には必ず口腔ケアを行っている 誤嚥の危険性の高い方、経管栄養の方には毎食後口腔ケアを行っている		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	出来る限り自分でしていただいている 失敗のないよう排泄パターンを把握し、その方にあった時間に誘導できるようにしている 尿量測定を行い、その方にあったオシメやパットを使用している。	排泄は自立、コールにより支援、おむつと習慣やパターンに応じた個別の支援が出来ている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分をしっかり取っていただくために、好みの飲み物を用意している 便秘の際には、食物繊維(オクノス)や青汁を飲んでいただくなどしている		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	好みの頻度、回数、時間に入浴できるようにしている	入浴は本人の希望にそった時間、回数で楽しむことができるよう支援している。重度の方にも浴槽に入れるようリフトが設置されている。拒否の方に家族が協力して入浴されていました。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室の温度や湿度を計測し、管理している リラックス出来る環境作りに努めている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の変更時には申し送りを行い、注意している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常の家事や気分転換のドライブ、買物などを行っている。 犬の散歩へ出かけたり、草取り 花の手入れをしていただいている。 職員と一緒に歌を歌ったり、体操を行なうなどしている		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良いときには近所を散歩している 地域でのふれあいの集いやふれあいサロンへ出来る限り出かけるよう努めている 出来る限り本人の要望に応えるよう取り組んでいる 以前と比べ、ご家族様との外出は増えてきている	日常的には散歩や買い物、全体的には家族と一緒に年2回(花見、紅葉狩り)出かけている。家族の協力でデパートの物産展に出かけられたこともあるようです。「みんなのこえ」等を参考に戸外に出かけられるよう支援している。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	立替払いではあるが、希望される場合は自分でお小遣いを管理されている 買物の支払いは、自分でしていただけるように支援している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	現在希望される方はおられないが、電話は自由にかけさせていただくことは出来るようにしている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	四季の花を生けたり、中庭の花を眺めるように配慮している 季節の花を植えたり、七夕 五月人形を飾るなど工夫している	玄関には季節の花を生けたり、広い居間にはソファ、丸テーブルを配置し、観葉植物もいろいろ置いて寛げる雰囲気になっている。家族の要望から入居者と担当職員の顔を知りたいということで写真も飾られている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファ、畳など入居者がお気に入りの場所で過ごすことができるようにしている。 中庭のウッドデッキでお茶を飲んだり、園芸を楽しんでいる。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際には、本人が使っていたものを持ち込んでいただき、使い慣れたものやなじみのものが身近にあるように家族にも協力をお願いしている 仏壇や神棚を持ってきている方もおられる	居室には思い出の写真や馴染の物を持ち込んで居心地よく過ごせるよう工夫されている。毎朝仏壇にご飯のお供えをされている方もおられる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	夜間真っ暗でないと眠れない方に対しては、足元灯をお付けしている		